

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
新湊地区

令和5年2月

富山県射水市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4- 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
指標1	西新湊駅乗降客数	人/年	233,027	238,000	147,800	確定 見込み	×	あり なし	164,548	R4月8月		改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	目標値より低い数値ではあるが、複合交流施設(クロスベイ新湊)で万葉線利用促進イベントの開催やと今年度末より開業する宿泊施設との相乗効果により、乗降客の増加が見込まれる。	
指標2	ロケ地来訪者(川の駅)数	人/年	35,439	39,000	25,300	確定 見込み	×	あり なし	27,232	R4月8月		改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	目標値より低い数値ではあるが、新型コロナウイルスの動向を見守りつつ、今後も観光振興策に注力し来訪者数の増加を努めたい。	
指標3	地区内人口数	人	7,864	7,860	7,172	確定 見込み	×	あり なし	6,960	R4月8月	×	射水市全体として、人口減少が続いており、本地区が最も影響を受けている。 改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	事業効果により良好な住環境は整備されたが、推計以上に人口減少が進んでいた。次期計画では、少しでも人口減少に歯止めをかける方策を検討する。	
指標4	複合交流施設入込客数	人/年	0	73,800	79,700	確定 見込み		あり なし	- -	R4月8月	○	- -	改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	本施設を有効利用したイベントが多数行われ、目標値を上回る入込客数の増に繋がった。今後も引き続き賑わいの創出を図りたい。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入

フォローアップの必要のある指標について記入

全ての指標について記入

様式4- その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	「きとときとバス」クロスベイ新湊バス停利用者数	人/年	30,095	/	40,300	確定 見込み	/	/	40,676	R5.1月	/	改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	複合交流施設(クロスベイ新湊)と併せて交通広場を整備し、バス停の統合や待合機能も充実したが、バス停利用者の増加に影響を与えたと考えられる。
その他の数値指標2	ロケ本数	件/4年	6	/	12	確定 見込み	/	/	12	R5.1月	/	改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	今後も引き続き、本計画で整備した施設や内川等の地域の魅力について情報を発信を行い、ロケ地として採用されるように努める。
その他の数値指標3	地区内人口の社会増減	人/4年	-712	/	-684	確定 見込み	/	/	-683	R5.1月	/	改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	中心市街地の魅力再生を目的として整備したことにより、社会減の進展に改善が見られたと考えられる。次期計画では、更に改善できる方策を検討する。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入

フォローアップの必要のある指標について記入

全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4 - 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5 - に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	複合交流施設(クロスベイ新湊)を核とした 新たな賑わい創出	令和4年10月に3年ぶりに通常開催された新湊曳山まつりでは、13基全ての曳山が花山から提灯山へ衣装替えを行う場所としてクロスベイ新湊の駐車場を活用した。また、本計画で整備した展望パーゴラを曳山特別観覧場所として活用し、新たな賑わい創出を図った。	当日は、全13基の曳山が並んだ勇壮な姿や、提灯山の一斉点灯と打ち上げ花火のコラボレーションを一目見ようと、約33,000人の観客がクロスベイ新湊周辺を訪れ、大いに賑わった。また、展望パーゴラに設置した特別観覧席は、普段とは違った目線で曳山を観覧することができるため、大変好評であった。	今後、地域住民や地元商工団体等との連携を更に深めながら、クロスベイ新湊や展望パーゴラを活用し、曳山祭りをはじめとする地域資源を生かした新たな賑わい創出のための事業を行う団体等を応援し、バックアップしていく。
	魅力あるイベントの実施と開催支援	・クロスベイ新湊や展望パーゴラ等にて、フリーマーケットやマルシェを毎月開催し、夏・秋季には、ピアガーデンを実施し、冬期間にはその施設にイルミネーションを装飾し、点灯イベントでは地元高校による演奏会や飲食店の出店等を行った。また、e-スポーツの格闘ゲーム全国大会のプレイイベントが行われた。	・マルシェやピアガーデン、イルミネーションイベントでは、地域住民をはじめ、親子連れや学生グループなど多くの来場者が訪れ、新たな賑わいを創出することができた。 ・e-スポーツイベントでは、普段射水ベイエリアを訪れる機会が少ない客層が多数来訪したことから、射水ベイエリアの魅力伝える好機となり、新たな客層の獲得に繋がった。	賑わいを創出するイベントを引き続き継続していけるように、地元まちづくり協議会や各種団体等と連携し、開催を支援する等、継続的なまちづくり活動を展開していく。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	交通広場の交通結節点としての機能強化	・新たな地域公共交通「べいぐるん」の実証運行を行うに当たり、クロスベイ新湊の交通広場を「べいぐるん」の主要停留所(拠点)として位置付け、既存のコミュニティバスや路線バス、万葉線等との結節点として活用した。	・地域住民だけでなく観光客にもクロスベイ新湊の交通広場が交通結節点として広く認識され、定着した。	・既存の公共交通との結節点として機能するだけでなく、新たに高速バスや観光バスの停留所として活用されることにより、クロスベイ新湊の交通広場が更に機能強化するよう、交通事業者や観光事業者等に対し働きかけていく。
	観光周遊を促す歩行者ネットワークの形成	特になし	特になし	次期計画にて観光周遊を促す歩行者ネットワーク形成の検討する。
	観光客の滞在性の向上	・射水ベイエリアを訪れる観光客の移動手段を確保し、滞在時間の延伸を図るため、クロスベイ新湊において、新たな周遊観光モビリティとして、電動カートや電動バイクを活用したレンタルカー「べいかーと・べいとらいく」の実証運行を行った。 ・市民と観光客との新たな交流の場としてクロスベイ新湊を整備した効果により、隣接地において宿泊施設の誘致に成功し、2023年3月に開業される運びとなった。	・「べいかーと・べいとらいく」に乗って射水ベイエリアの散策を楽しむ観光客の姿が見られるようになり、滞在時間の延伸だけでなく、それに伴う観光消費の拡大にも繋がった。	・今後、観光客が長期滞在したくなるような魅力づくりや宿泊機能等を充実させ、観光客の滞在性の向上や魅力あるイベントを実施する。 ・クロスベイ新湊隣接地で開業する宿泊施設とクロスベイ新湊が連携を深め、新たなサービスや商材の開発を進めることにより、お客様の満足度を高め、繰り返し当地に訪れただけの方策を検討していく。

事後評価シート 添付様式5 - から転記

様式4 - フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項